

# 田村池 (たむらいけ)

## 位置図



## 諸元

貯水量	363.9	千m <sup>3</sup>
満水面積	17.7	ha
受益面積	34.0	ha
堤高	4.6	m
堤長	1,356	m

田村池は丸亀市西部の市街地にあり、丸亀市では有数の大きさを誇る池です。この池は「皿池<sup>さらいけ</sup>」と呼ばれるタイプの池で、平野部にあり、四方を堤防で囲まれ比較的水深が浅いのが特徴です。

田村池の築造年代は明確ではありませんが、「新修丸亀市史」には宝永七年から享保三年（1710～18年）に日照りが長く続いたために築造されたと書かれています。また、この池の南西には堤防を共有する形で隣接する太井池<sup>たいいけ</sup>があります。

田村池には水草が少なく、ヒシが少しある程度です。一方、太井池では広範囲にヨシ・マコモ・ヒメガマなどが生育しています。このような対照的な池が隣接しているためか定かではありませんが、この2つの池では数多くの野鳥を観察することができます。特に、カモ類の越冬地としては県下有数の場所となっています。詳しくは香川県環境森林部みどり保全課のHPをご覧ください。

<http://www.pref.kagawa.jp/kankyo/shizen/wild-bird/map/tamura.htm>

このように、ため池は農業用水の貯水池としてはもちろん、野生動植物の生息環境としても大切な役割をしています。天気の良い日にはため池へ自然観察に出かけてみてはどうでしょうか。



田村池(左)と太井池(右)



羽を休める白鳥や鴨